



# ステップ

第16号 2002年12月20日

発行人/北見土木技術協会

北見市北5条東2丁目  
北見市都市建設部土木課内  
TEL0157-25-1161平成13年度  
道外視察

## 大阪湾岸地区を視察

### 矢倉緑地/夢舞大橋

例年行われている本協会の道外研修。9回目の今回は2月26日から3月1日までの日程で、参加者15人は、大阪湾岸地区を中心に、港務局担当者と同行し視察研修しました。

### 夢州工事/スーパー堤防

1日目 2月26日

#### 路肩駐車で道狭し

今日は大阪へ向けて出発の日。女満別空港に8:40集合。女満別空港→千歳空港→関西空港と経由し、大阪に降り立ったのは午後1時を回ったころでした。

その日の大阪の天気は、煙草の煙で白く濁ったバス車中のように曇っていた。

その後、バスガイドさんの案内を受けつつ、「なんばグランド花月」に向かう。大阪の道路風景は、北見と異なり、至る所に路上駐車。道路狭しと二重にもなって車が停車し、至る所で車のクラクションが鳴らされていました。

当日、花月には吉本興業が入っており、吉本新喜劇、漫才、落語等を楽しむことができた。個人的には大して面白くない内容であったとしても、後ろの大阪のおばちゃんらしき集団の大笑いが聞こえ、大阪名物「おばちゃん」のパワーを感じることができました。

夜には懇親会。大阪名物「くだおれ」にて関西風すきやきを食す。そして研修は夜の部へ…。



▲なんば花月

2日目 2月27日

#### ゴミ捨て場が緑地に

現場視察の日。午前、矢倉緑地。

矢倉緑地とは大阪市唯一の自然護岸で、以前はゴミ捨て場だった場所。荒れ果てた地を自然

の保全と市民への親水空間の提供を目指し整備したもの。

現地は駐車場もなく一切の車の乗り入れが禁止。そのためどこから入れるのかがよくわからなく、地元のこの場所を知っている人しか受け付けられないかのように感じた。



▲矢倉緑地入り口

進入路は約1km手前の民間の工場前から築堤に階段で上ると護岸が広がる。護岸には花崗岩が使用され、一面に黄土色。ゴミ捨て場であったと感じさせないほど整備されており、以前のこの地の状態を知った上で矢倉緑地を訪れると感動を覚えることでしょうか。あいにくの小雨、平日の昼間ということもあり、訪れている人とすれ違うことはなかったが、この場所が自然を楽しむ人で賑わうことを期待したい。



▲矢倉緑地の自然護岸

大阪WTCコスモタワー内レストランにて昼食。このビルは大阪湾にあり、西日本一の高さ256mを誇る。

昼食後、午後の「テクノポート大阪」計画視察に先立ち、コスモタワー展望台より視察予定地を眺める予定であったが、雲のため何も見えず。地面も見えないほどの曇りにおおわれ残念な結果となってしまった。

次に夢舞大橋を視察。この橋は大阪市新臨海埋立地の舞州と

夢州を結ぶ橋で、旋回式浮体橋という構造、常に水に浮いている状態のため、橋にかかる力が大きく、かなり頑丈な橋という印象を受けました。そして非常時には橋を旋回移動させ航路を確保するという目的があります。残念ながら旋回している状況は見られませんでした。かなり大がかりな作業となることでしょう。



▲夢舞大橋

次に夢州土地造成地盤改良工事を視察。夢州は人工島で、その土地の大部分を浚渫工事の発生土によって造成されています。そのため地盤改良の必要があり、この工事では表層混合処理工→シート工→敷砂・盛砂工→ドレーン工→載荷盛土工という流れで作業が進んでおり、視察時点では作業の大部分が完了しており、作業風景をみることはできなかった。



▲人口島・夢州

これほどの大規模の地盤改良は、まだまだどのような挙動をするか解明されていない部分が多く、計測システムが設置されシートに動く張力などを計測していました。

最後に安治川のスーパー堤防を視察。この場所はユニバーサルスタジオのすぐそばで、ユニバーサルシティ港があります。堤防とはいえ、幅が最大50mもあり、その上道路や建物も建ち、どこまでが堤防か見分けがつか



▲スーパー堤防

ないほどでした。

ユニバーサルシティ港は普段は船着き場として機能していますが、緊急・災害時には浮体式防災基地として船着き場自体が移動し、災害地への資材輸送、ヘリポート等となり大阪湾での非常時に備えているものです。

3日目 2月28日

#### USJの町並みに感動

ユニバーサルスタジオジャパンへ。13年3月31日にオープンしたテーマパーク。ハリウッドの有名な映画等をテーマにしていて、入場すると日本にいるとは思えない街並みに感動を憶えたりもする。平日なので多少空いているのではと思えたが、人気のアトラクションでは30分以上の待ち時間。待つことに慣れていないので苦痛を感じました。休日ではおそらく3倍も待たされるであろうことを考えると、大変良い日に訪れたのではないかと思います。

施設自体は大変楽しいものだったが、やはりここは恋人、友人、家族で来るところかなと、ふと虚しく感じたりもした。閉園までいたため、帰りの電車はラッシュとぶつかった。かなりの混雑で、北見では味わえない体験。



▲ユニバーサルスタジオジャパン

移動中に大変面白い建物を発見した。大変派手な外装に塔がありその上には金色のオブジェ。一見なんのテーマパークだろう？と思ったが、大阪市のゴミ処理場でした。

無駄にお金をかけているなど心の声も聞こえてきそうですが、イメージアップの一環としてみると、とても面白いもので、市民・観光客の注目を浴びそうなるものでした。

視察終了後は研修最後の晩餐ということで、「つばらや」にてふぐを食し、親睦を深めたのでした。そして研修は夜の部へ…。



▲塔があるゴミ処理場

4日目 2月29日

#### 通天閣で景色楽しむ

帰路の飛行機の時間15:00まで、大阪の名所を巡る四天王寺は聖徳太子が建てられたお寺。静かな庭園と線香のにおい。まさにお寺でした。宝物館があり、何百年前の国宝級の仏像等々を拝見することができました。

次に通天閣。大阪の下町と呼ばれる位置にあり、広い駐車場も完備されておらず、バスの乗り入れには苦勞していました。そんなところへ、大阪名物「ガラの悪い下町見ちゃん」が通りかかり一言毒を吐いていかれました。おかげで大変下町を感じることができました。展望台に上ると、先日コスモタワーにて大阪の景色を堪能できなかったぶん、かなり低い位置からですが景色を楽しむことができました。この日も天気が悪く、きれいな景色を楽しめたわけではないのですが…。



▲通天閣

最後は大阪城。大阪のシンボルともいえる天守閣を外から見学し、中に入ってみると近代的内装の博物館。ある意味このギャップがちょっとがっかりした。何度も焼け落ち、修復しているので仕方がないのだけれども…。そのあと大阪城内売店食堂にて、大阪名物「けつねうどん」を食し、空港に向かう。

これで全日程を終了し、帰りは伊丹空港→羽田空港→女満別空港と経由し全員無事に到着。今回研修旅行で御尽力頂いた協会の皆様へ感謝申し上げます。記:五十嵐建設(株) 長瀬 章宏

# 海外 レポート

## 寄稿

携帯普及、緑化、国際化……

# 最近の上海

博士後期課程システム工学専攻  
北見工科大学大学院 何耀昌さん



20年前、中国は「改革開放」という政策を実施してから、大きな変化を遂げてきた。ここで、私の故郷中国最大の商業都市・上海で近年発生しているいくつかのことをご紹介します。

昨年10月まで中国における携帯電話ユーザーが1億3,600万人に達し、世界第1位の携帯電話大国となった。上海では3人に1人が携帯電話を持っている。10年前にカラーテレビはぜいたくなものだと思われたが、今の上海では、ほぼ99%の家庭がテレビを持っている。また新しいマンションでは独自にパラボラアンテナを設置し、台湾や香港および大陸各局波を受信し、各

戸へ分配している。さらにISDN投資を省略したADSLへ移行し、しっかり「宽带」(ブロードバンド)でインターネットを楽しむことができた。街で「インターネット屋」さんがよく見られる。これは家にインターネットを接続していない人や町で歩く人に便利になった。

近年、地下鉄、バス、タクシーなど市内の交通機関共通のプリ・ペイド形ICカードがよく使われてきた。また携帯電話のICチップも人気ものになった。このチップは裏のバッテリー裏にはめ込まれているプラスチック片だが、この中に電話番号などの情報が入っており、機種変

更もこのチップを差し替えるだけで済む。電池が無くなった時など友人の携帯電話を借り、自分の電話番号で受信することも可能である。通話料金は全て電話機ではなくチップごとに管理されているし、再補充可能なプリ・ペイド形や月190元の使い放題のタイプもある。

昔、上海の一般的な市民は住宅を購入しようとは考えもしなかった。なぜなら市民の収入が安いし、家庭に向く銀行ローン

もあるが、入場料を払って入るものであった。ところが近年は小規模ながら無料の散歩道や緑地が急増し、半分以上の公園が無料化された。街の電柱が消えた代わりに街路樹が植えられ、市民1人あたりの緑地面積が10年前の0.01㎡から6㎡まで急増した。これからも町の緑化がますます推進されるようである。

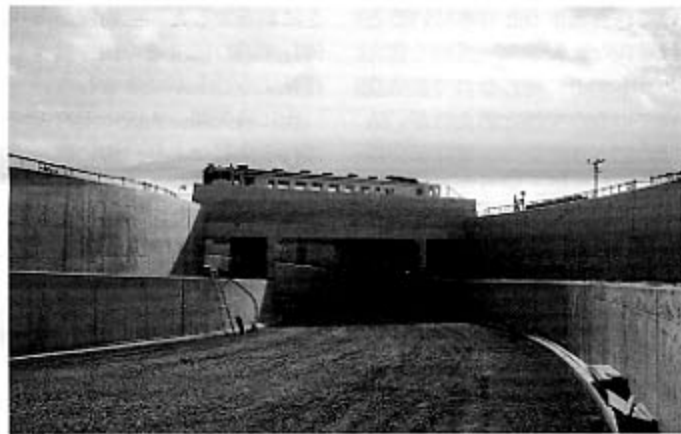
上海には、国際化の進展に伴い、さまざまな異文化が入ってきた。その中でも、食文化が代表的なものであり、外国料理のレストランはけっこうある。もちろん日本の刺身、すしも手軽に安く食べられる。秋になると、何と言っても最も美味しい料理は上海蟹ではないだろうか。10月の中旬から12月の初旬までの期間限定で、蟹の季節と言われ、一般に早めの時期は産卵前のメスが、遅くなると体の大きいオスが美味しいと言われる。

以上、最近の上海事情について簡単に紹介しましたが、中国自体がここ10年で急速な変貌を遂げている。もし機会があれば上海を一度訪ねられては如何でしょうか。



もなかった。現在では15年、20年といった銀行の住宅ローンは当たり前で、新聞広告でも以前の「1㎡いくら」から「頭金いくらで入居できる」との宣伝に代わった。「商品房」と呼ばれる分譲マンションは一般市民の手に入るようになってきた。

最近、街に緑が目立つようになってきた。以前から上海ではいくつかの規模の大きい公園が



▲東4丁目通アンダーパス(14年11月撮影)

**工事件名**  
北見東4丁目通BV  
**新設公示**  
(BV=Viaduct Bridge架道橋)  
**工事主体**  
北海道網走土木現業所  
**設計管理**  
北海道旅客鉄道株式会社  
**工期**  
着工 平成12年1月27日  
竣工 平成14年度(予定)  
**施工場所**  
北見市大通東4丁目  
JR北見駅構内  
**施工者**  
株式会社奥村組札幌支店

クッションカット)プレートで保護しているので鉄道交通等に影響が小さく安全な工法です。

3. 品質に優れた工法です。  
カルバートボックスは立坑内で製作する為、重要構造物としての品質管理が充分に図られます。

◎施工例  
・北海道内  
函館本線深川駅構内

推進式 長さ25.0m  
・国内  
東海道本線西ノ宮構内  
けん引式 長さ41.1m  
御殿場線下曾我駅構内  
推進式 長さ23.0m  
・海外  
韓国京釜線ソウル南榮駅間  
(巻月地下道)けん引式  
長さ35.5m

## 東4丁目通 架道橋新設工場

本年度に  
完成予定

# R&C工法

鉄道下に2車線と歩道

東4丁目通りは、JR石北線による都市分断を立体交差化により南北のアクセスおよび都市環境を向上させるため新設される幅員20mの道路です。都市拠点整備事業(北見市主体)とともに面的整備が進められています。

### ○工事概要

東4丁目通は、JR線と立体交差する計画で、鉄道直下に2車線道路と歩道を設置する工事です。国道39号線からの道路縦断勾配を確保するためにJR交差部で土被りが最小になるオール・アンド・シー(R&C)工法が採用となりました。

R&C工法は線路両側の立坑から箱型ルーフを設置して軌道を仮受し、その後立坑に本体のボックスカルバートを築造し、これを前進させて箱型ルーフと

置き換える工法で、鉄道直下に構造物を安全に設置します。

### ○本工事の特徴

1. 函体製作  
函体は曲線部に位置するため、軌道に対して函体自体が76度26分の斜角となっています。
2. 土質と地下水  
土質は主に砂・砂レキから構成されGL-4m程度までN値5~20程度それ以降はN値30以上です。  
最大レキ径はφ180mmが確認されました。また、地下水はGL-2、10~3、50mと高く水量も多くなっています。
3. 埋設物  
馬蹄形レンガ作りの旧排水路が推進方向にあります。(内空幅1.8m×内空高2.1m)
4. 水平ルーフ施工



(11~12月)施工で工程短縮の為、機械式と手掘式を同時施工します。なお、手掘式は2列のルーフを同時推進します。

### ○工法の長所

この工法は、ボックスカルバートの設計高さに合わせて設置した箱型ルーフを推進によりボックスカルバートとFCプレートを1枚残して置き換える施工工法です。

1. 土被りの浅い地下道が作れます。  
当現場では鉄道施工基面(軌道ラスト下面)から函体まで30cmで、道路取付等にメリットがあります。
2. 安全な工法です。  
函体推進時の掘削切羽は先行した箱型ルーフ及びFC(フリ

## 私と職場

㈱田代測量事務所  
門脇 秀衡さん

## 自然を守りながらの開発が課題



私が田代測量事務所に入社して丸2年になりました。入社当時、事務所は桂町にありましたが、去年12月に三楽町に移り、前よりも広く新しい社屋で仕事をしています。仕事の内容は、畑、水路、用地、林道等の現場調査や工事の測量等を行っています。この会社に入る前にも同様の職種でしたので、この仕事にもすぐに慣れることができました。会社の雰囲気はとても良いと思います。

外で行う仕事柄、やはり夏は忙しくなります。大変なのは、林道等ではダニや蚊など

略歴  
昭和43年7月10日生まれ  
昭和62年3月 北見工業高等学校卒業  
平成12年3月 ㈱田代測量事務所入社  
会社概要 平成7年設立  
資本金 300万円

の虫が多いことです。畑などの場合は、一般住民の方の苦情や意見がくることもあります。しかし、今まで何もなかった所に物が出来上がった時は、苦勞した甲斐があったと達成感が湧きます。

最近、この仕事を通して、自然環境についてとても考えさせられます。これからは、いかに自然環境を守りながら開発を進めていくかということが、とても重要な課題になっていくでしょう。今までの経験を生かし、これからもこの仕事に従事していきたいと思っています。

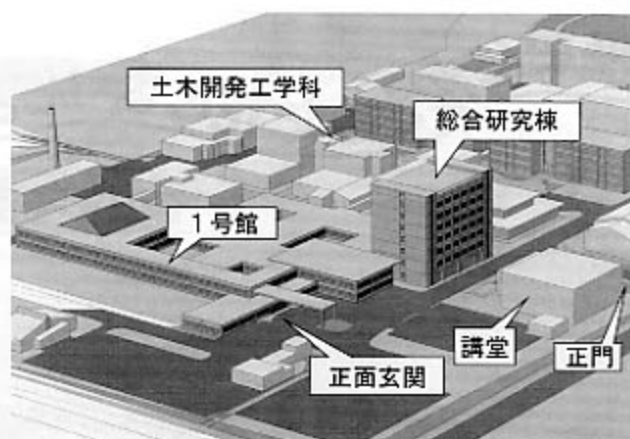


## 北見工業大学の近況

### SVBL新設

サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

北見工業大学土木開発工学科 早川 博さん



▲来年7月には総合研究棟が完成予定

今、国立大学はマスコミ報道等でご存知のように、独立行政法人化とともに大学の統合・再編の動きが活発化しています。99校ある国立大学の中で、少子化で供給過剰となっている教育大学や医学・工学などの単科大学がターゲットにされ、山梨医科大学と山梨大学などのようにすでに統合に合意した大学もあります。北海道では北大を除く6大学(北見工大、室蘭工大、帯広畜大、小樽商大、旭川医大、北教大)が統合・再編に向けた話合いのテーブルについたところで、今春米国の分校制大学の現地調査に調査団を送ったところです。このように北見工大もここ数年のうちに大きな変革のときを迎えようとしています。今年4月就任した第7代日常本秀幸学長は、北見工大を21世紀の「個性かがやく大学」に作り上げるため、地方大学の特色を前面に掲げ、地域に密接した大学作りを目指しています。

いくつもの目玉として、今年4月にサテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(SVBL, Satellite Venture Business Laboratory)が発足しました。北海道では北大、室蘭工大について設立され、全国でもこれまで30以上もの大学で設置され、地域社会の新産業創出の中核になることが期待されています。北見工大のSVBLはプロジェクト名「インテリジェントソフトウェア技術を利用した福祉社会システム構築に関する基礎技術の開発」を基本テーマにしています。本SVBLは、大学院あるいは若手研究者を中心とした産学連携型先端的研究を通して、①日本の将来を担うベンチャー・技術者を育成し、②近い将来、国際的なベンチャー起業につながる先端的なシーズ(芽)を開発する、ことを目的としています。本SVBLではこの目的達成のために以下の3分野が連携しています。

- (1) 環境適応型ソフトウェア技術分野**  
北見工大が全国の大学に先駆けて取り組んでいるJAVA言語を使用して、人間を含む外部環境のさまざまな特性や変化に対して柔軟に機能や動作を適応化する知的ソフトウェアを開発します。また、この技術介護ロボットの遠隔操作や介護システムの高度化、e-ラーニング等に適用していきます。
- (2) ロボット関連技術分野**  
生体機能の解析を進め、介護ロボット等に必要機能機器の開発あるいは感性対応センサーを開発し、簡便な運動機能を持った自律支援システムを構築します。
- (3) 在宅支援関連技術分野**  
寒冷地におけるバリアフリー化は、建物・道路などの構造のほか、環境変化も対象とする必要があります。また、人体機能の衰えを防ぐ研究等も合わせて行う必要があります。本分野では、バーチャルリアリティー・

リハビリ技術の実現、環境適応型バリアフリーインフラシステムの構築を目指しています。本SVBLはこの4月に設立されたばかりで、初代ラボラトリー長に選出された藤原祥隆情報システム工学科教授を中心に具体的な運営方針等が現在検討中です。本SVBLの発展のためには、地域共同研究センター、未利用エネルギー研究センターともども地元産業界との連携を深め、北見から全国に発信できるベンチャー企業を創出していく必要があります。また、今年度は大学院博士前期・後期課程の充実に伴い、狭あいていた研究環境の改善と、前述のSVBLと昨年設置された未利用エネルギー研究センターとが同居する総合研究棟

が、今年7月に着工し、来年7月の完成を目指しています。総合研究棟はイラストにあるように正門入口から入ったほぼ正面に建設され、北見工大で最も高い7階建ての建物です。1階から3階に未利用エネルギーセンターとSVBLが入り、4階以降に機械システム工学、電気電子工学、土木開発工学の研究室等が入居します。さらに来年、再来年度には北見工大設立時に建設された1号館(2階建て)の全面改修が予定され、3年後にはイラストのような一新された北見工大を目にすることができるようでしょう。北見工大は21世紀の人類・社会に貢献できる「個性かがやく大学」を目指しています。会員皆様のご協力をお願いいたします。

## 建設リサイクルが義務化 分別解体と再資源化

平成14年5月30日から建設リサイクル(分別解体と再資源化)が義務化されています。今、一度ご確認ください。  
◎建設廃棄物の現状  
建設廃棄物は、産業廃棄物全体の排出量の約2割を占めており、建設工事現場からの建設廃棄物の排出量は、全国で年間約8,500万トン。これは東京ドームの約50個分に相当する膨大な量となっています。さらに、産業廃棄物の最終処分場は残存容量が少なくなっ



たり、残余年数は全国で3.3年、首都圏においては0.8年分しかありません。なお、建設廃棄物のリサイクル率は全体で約8割

となっていますが、木材や汚泥についてはリサイクルが遅れています。  
◎義務化の内容  
一定規模以上の工事(対象建設工事)については、特定建設資材廃棄物を規準に従って工事現場で分別(分別解体等)し、再資源化等することが義務付けられました。(義務付けは、特定建設資材を用いた建築物等の解体工事、特定建設資材を使用する新築工事等に限られます)  
〈対象建設工事〉  
下記の規模以上の工事について、分別解体等および再資源化等が義務付けられました。  
建築物の解体では 80㎡以上

建築物の新築・増築では500㎡以上、建築物の修繕・模様替(リフォーム等)では1億円以上、その他の工作物に関する工事(土木工事等)では500万円以上。  
解体工事とは建築物の場合、基礎、基礎ぐい、壁、柱、小屋組、土台、斜材、床板、屋根板または横架材で建築物の自重若しくは積載荷重、積雪、風圧、土圧若しくは水圧または地震その他の振動若しくは衝撃を支える部分を解体することをさします。  
建築物の一部を解体、新築、増築する工事については、当該工事に係る部分の床面積が基準にあてはまる場合について対象

建設工事となります。また建築物の改築工事は、解体工事+新築(増築)工事となります。  
〈特定建設資材〉  
分別解体等および再資源化等が必要となる特定建設資材は①コンクリート ②コンクリート及び鉄から成る建設資材 ③木材 ④アスファルト・コンクリート。  
ただし木材が廃棄物となったもの(廃木材)については、再資源化施設までの距離が遠いなど(再資源化施設まで50kmを超える場合)経済性等の制約が大きい場合には、再資源化に代えて焼却(焼却)を行えば足りることとされています。

## 14年度 事業計画などを承認 14年度 定期総会

平成14年度本協会定期総会が7月24日、市内ホテルにおいて開催されました。庵会長(市都市建設部長)のあいさつ、平成13年度の事業・決算報告、平成14年度の事業計画、予算案が承認されました。また、市年建設部土木課の石田博貴さんから、本協会主催の大阪国内研修(平成14年2月26日～3月1日・3泊4日)の報告がありました。総会閉会後は、懇親会が開かれ、和やかに親睦を深めました。

## 平成14年度 「土木の日」 書道展表彰式

11月18日の「土木の日」にちなんで募集していた書道展作品の表彰式が、11月17日(日)に市民会館で行われました。小中学生64点の応募の中から、全道書道展など数多くの審査委員を務め

てる野々下恭敬先生の審査により、金賞8点、銀賞11点、銅賞15点、奨励賞30が選考されました。表彰は、北見工業大学土木開

発工学科助教授で、「土木の日」北見地区実行委員長も努める川村彰先生から表彰状と記念品が手渡されました。



▲書道展示会

### 平成14年度 「土木の日」 書道展入賞者

学年	金賞	銀賞	銅賞	奨励賞
1	畑中 春香(南小)	安田 琢(東小)	三嶋 涼(小泉小)	水上奈美季(三輪小) 岩本 祐人(北光小) 岩本 尚哉(東小)
2	鈴木 香奈(東小)	金子 萌美(北小) 児山 真澄(美山小)	林 竹口 高田 航平(中央小)	大桃 詩穂(南小) 坂本 奈々(小泉小) 石川 真由(北小) 高橋 勇紀(美山小)
4	竹下 奈々(大正小)	牧山真衣子(美山小) 吉村 望美(大正小)	島崎 紗紀(大正小) 夏穂(美山小) 渡辺 仁美(美山小)	佐伯 純哉(東小) 中村 雄斗(高梁小) 高槻 洋介(北光小)
5	近田 美穂(美山小)	坂本 真瑛(小泉小) 中内 啓太(大正小)	中村 亜美(中央小) 児山 希(美山小) 小野 千智(北小)	堀米 理紗(北小) 堀川 早苗(北小) 洞 詩織(北小) 高木 千博(北小) 前田 早紀(北小) 高橋 朋(美山小) 里奈(美山小)
6	森 優子(大正小)	細川 雄貴(美山小)	中村 小里(美山小) 鈴木 真奈(東小)	亀井 薫(美山小) 大島 翠(美山小) 藤田 果歩(東小) 中村 勝(高梁小)
中1	星 奏衣(高梁中)	小野麻衣子(高梁中)	松尾 桃佳(南中)	中村 健太(高梁中)
中2	畑中 明香(南中)	守屋 名菜(北中)	山寺 志保(北中)	細川 勇哉(北中) 藤田 佑奈(東梁中)
中3	近 真弓(高梁中)	高橋 尚(北中)	服部友里恵(北中)	山川 浩平(高梁中) 金野 幸裕(光西中) 小野 智士(高梁中)

▲書道表彰式

# 歴史に根ざした花と香りによるまちづくり

## 香り彩るまちづくり推進機構



平成6年度より北見において「花と香りに出会うまち」、「花と香りを楽しむまち」、「花と香りを贈るまち」、「花と香りの文化を創るまち」をテーマにしている香り彩るまちづくり推進機構の活動が昨年第11回全国花のまちづくりコンクールにおいて、市町村部門最優秀賞(国土交通大臣賞)、手づくりふるさと賞(国土交通省)、かおり風景100選(環境省)を受賞しました。

香り彩るまちづくり推進機構は「ハッカの歴史に根ざした花と香りによるまちづくり」を日指す市民ボランティアとして設立されました。まちづくり研究会などの民間ボランティア団体、

商工会議所、観光協会などに、北見市が加わり、24の組織から参加する委員と、企業・個人会員、ボランティアで構成されています。現在、会員は法人43団体、個人46人で、河川敷公園づくりには市民(小学、一般市民含め)400組、法人20団体ほどが参加しています。主な活動は次の通り。

●香りゃんせ公園の企画維持管理  
香りゃんせ公園は北見市朝日町・常呂川河川敷(10.4ha)にあり、中心部に噴水のある親水施設を設け、左右にはオレガノ(花ハッカ)の花畑フラワーガーデン、幾何学的なサークルにサントリーナ・キャットミント・クリーピングタイムなど植

えたノットガーデン、コミュニティガーデンが配置されています。

この公園は、市民が企画、提案を行い、国が基盤整備、市が造成工事を担当。毎年、コミュニティガーデンでは、家族などが多数参加し、植栽から収穫まで行なっています。また、ノットガーデンでは、幼稚園、小学校、ボーイスカウト、企業グループなどの団体がボランティアで維持、管理を行っています。

●ハーブの利用法を学ぶ講習会の実施、学習会への講師派遣  
主にコミュニティガーデン参加者を対象にした、収穫の後のハーブの使い方、楽しさを学ぶ講習会を20名程度の小グループで、年30回以上に行っています。

また、地域の住民(PTA、婦人会、福祉施設)の要請により、時には実演も含めた啓蒙活動を行っています。

●フェスティバルの開催  
昨年で5回目になる、香りゃんせフェスティバルは、毎年1万人ほどが集い開催され、まちづくり研究会、観光協会と推進機構で実行委員会をつくり、コミュニティガーデン参加者などの多数の協力を得て実行され

ています。  
ハーブの体験コーナーでは、ボランティアが手作りのハーブグッズを紹介し、参加者が製作体験。また、大学生のボランティアがキャラクターをかぶり、北見の自然、歴史、ハッカをテーマにミュージカル、紙芝居、人形劇を熱演します。メインイベントでは、ハーブで彩られたウェディングが行われます。野外公園で多くの人々の祝福を受け、まさに映画の1シーンが再現されます。

こうして毎年多くの人々が訪れ、ハッカ(ハーブ)についての理解を深め、香りと、彩りと、そしてイベントを楽しみます。

香り彩るまちづくり推進機構が発足した平成6年はバブルが弾け、まだバブルの余韻残っている頃です。この時期に市民団体と市がうまく連携し、さらに新しい形の市民ボランティアを形成しました。現在、香りゃん



せ公園は60%ほどが完成し、香りゃんせフェスティバルも5回開催されるなど、着実に地域に根を広がっています。

ふるさとの歴史教材として取り上げられたり、仁頃地区の農家がかつてのハッカ栽培を復元

しようと活動を起こしたり、行政によるハッカ蒸留施設の再現、ハッカ農園の造成、総合情報施設、田園空間整備事業が計画されるなど波紋を広げつつあります。

今後、さらに魅力ある企画を通じて市民ボランティア募り、公園から収穫されるハーブを製品化するなど、維持運営コストの自立と、活動主体のしなやかな変化を含め、「まちかざり」ではなく、本当の「まちづくり」となるような、北見の歴史的遺産「ハッカ」を再認識し、評価し、今に通じる魅力的な企画、提案を行い、多角的分野からの共感を得て、新しい北見の財産を作ろうとしています。さらに、新たな経済活動の創設も視野に入れて活動していくことでしょう。

これからますます、民間で社会資本の整備を進めたり、社会福祉サービスを担ったり、教育、文化を振興したり、地域振興を各機関の壁を乗り越え、協力して推し進めていこうという動きが盛んになることでしょう。

香り彩るまちづくり推進機構は、まさに地域の先駆的存在として、ますます期待が寄せられています。



## ウーマンパワー

私は4月で入社8年目になります。入札書や見積書等の札を作成すること、銀行に行き、振込をしたり、集金したりする外回りが主な仕事です。当初は

会社名と場所が一致せず違う会社の周りをウロウロすることが多々ありました。また回る所が何件もあると、順序良く回れず、大変な思いをしたこともありま

した。今は大分慣れ場所等を覚えたので、時間の無駄もなくなりました。

また書類作成では、今使っているパソコンが3台目で、操作の仕方がそれぞれ異なるので覚えるのに、苦労しています。今は操作を覚えるため、書類作成の手伝いをして、とても楽しんで仕事をしています。分からない所があれば積極的に聞くようにして、勉強しています。同じことを何度も聞くのであきれられたこともあります。私が納得するまで丁寧に詳しく教えてくれます。何度も書類の手直しが続いて、迷惑をかけてしまうこともあります。今年こそは間違いを減らそうと努力していますが、なかなか思うようにはいきません。

積極的に聞き  
間違い減らす

大崎 弥美さん  
小泉建設工業



## 図書券が当たるクイズ

サザエさんの家族のことを知っていますか?問題をよく読んで答えてみてください。(答はひらがなで...)

1. サザエさんの夫の名前は?
2. サザエさんの子供は何人?
3. サザエさんの兄弟は何人?(本人を除く)
4. サザエさんのお父さんの名前は?
5. サザエさんの家の猫の名前は?
6. サザエさんの子供の名前
7. サザエさんの苗字は?
8. 「ノリスケ」「タイコ」夫婦の子供の名前は?
9. サザエさんのお母さんの名前は?
10. サザエさんの家に何人住んでいる?

応募要領  
官製ハガキに住所・氏名・年齢・職業(学年)、答を書いて送ってください。締め切りは平成15年1月末日。正解者の中から抽選で10名に1,000円の図書券を送ります。  
<送り先>  
北見市北5条東2丁目  
北見市役所土木課内  
北見土木技術協会クイズ係

## 私のお父さん

### サッカーをおしえてくれる

美山小5年 加藤 広大



うちの父さんはいつも仕事で帰るが、お父さんが帰るとかえってきます。いつも仕事が大変そうです。休みの日はよくサッカーをおしえてくれます。試合や大会の日にはよくがやっている時によこから指示してくれます。帰りはみんなお父さんが大きいです。

美山小の会前  
横山測量設計事務所  
加藤 研一さん

## 編集委員会

「ステップ」第16号は、以下の編集委員が作成しました。発行に際してのご協力に感謝申し上げます。  
▶委員長 早川 博(北見工大)  
▶副委員長 門脇 修(北見市都市建設部)

- ▶委員 小林正典(天内工務店)、隈田政利(イガリ建設)、杉山 彰(小泉建設工業)、岸 宣宏(村井建設)、古谷千絵(中神土木設計事務所)、森谷理香(山原測量設計事務所)、湊谷絵梨子(河西建設)
- ▶事務局 寒河江克明(北見市都市建設部)、酒井達史(同)